



# 福祉 みやぎ

2025 / 1月号 vol.637

## P2 特集

地域共生社会の実現に向けた企業と福祉の連携

- 誰もが生きることの幸せを感じる社会を目指して  
宮城県中小企業家同友会 共生福祉部会の取組
- 他業種連携により地域のニーズに応える！  
株式会社ライブスポーツの取組

## P2 新年のご挨拶

## P5 第70回宮城県社会福祉大会を開催しました！

## P6 Heart&Works (ハート&ワークス) 地域の子育てを支える「長町自由の星保育園」の取組

## P8 ちいきをつなぐ 地域盛り上げポイント「Pocci!」 ～古紙リサイクルから生まれる地域団体の応援プラットフォーム～

## P10 グッジョブFUKUSHI 社会福祉法人仙台キリスト教育児院 地域小規模児童養護施設かりんの家の紹介

## P11 宮城いきいきシニアだより 「ねりんピックはばたけ鳥取2024」大会レポート

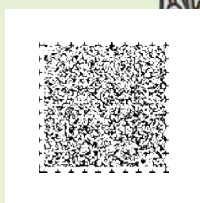
## P12 県社協掲示板



作者 地域支援センターぱれっと  
吉岡すまいる利用者

タイトル (巳) のり多き年になりますように

「健康で楽しく1年を過ごせますように」と願いながら、パーツごとに手分けをしてみんなで仕上げました。





## 新年のご挨拶

会長 宮川 耕一

令和7年の年頭にあたりまして、謹んで御挨拶申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より本会の活動に対し、温かい御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震や、7月に発生した東北地方の日本海側を中心とした大雨災害など、大規模な自然災害が各地で数多く発生しました。

本会といたしましても、宮城県、市町村社会福祉協議会、関係団体の皆様とともに、DWA Tや応援職員の派遣など、被災地の復旧・復興の支援に努めてまいったところです。この間の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

今年も平穏な年であることを祈りながら、災害時に即応できる体制の強化や地域の支え合いの仕組みづくりに、皆様とともに引き続きしっかりと取り組んでまいります。

また、孤独・孤立、貧困、障害、疾病、高齢などにより様々な困難を抱えた方も住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、宮城県や本会、福祉関係団体等で組織した「宮城県地域共生社会推進会議」を中心として、経済分野、教育分野など様々な関係者とも連携し、「地域共生社会」の実現に向けた事業にも取り組んでまいります。

本会では、こうした地域福祉に関する各種事業を実施しているほか、高齢者や障害児（者）の入所施設等も運営しております。今年も、本会の経営理念に掲げる「豊かな福祉社会の実現」に向けて地域福祉の推進と施設の運営の両面で尽力してまいりますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

この一年が、皆様にとって実り多い年となりますことを御祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

## 地域共生社会の実現に向けた 企業と福祉の連携

### 誰もが生きることの幸せを感じる社会を目指して

宮城県中小企業家同友会 共生福祉部会の取組

宮城県中小企業家同友会（以下、同友会という。）は、中小企業経営者が自主的に参加し、経営者として、人間として成長するための学びの場です。同友会の特色ある取組の1つに、横断的連携から「共学（ともに学び合い）・共育（ともに育ちあい）・共生（ともに生きる）」の実現を目指す「共生福祉部会」があります。今回は、共生福祉部会の原田前会長と、齋藤会長へインタビューをさせていただきます。

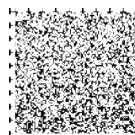
誰もが生きることの  
幸せを感じる社会を目指す

現在、共生福祉部会では、「経済と福祉の融合」を学ぶとともに、



▲右：共生福祉部会 原田前会長  
左：共生福祉部会 齋藤会長

障害者雇用の促進を目指し、障害者理解につながる研修会や、ひきこもりの社会復帰支援について学ぶ研修会、合理的配慮を学ぶ視察研修等に取り組んでいます。





今後の展望として、障害者のみならず、ひきこもりや刑務所出所者の社会復帰、障害児を育てる母親等、社会で働きづらさを抱える方々を対象とした雇用の創出に向けた検討会を行っているとのことでした。また、「多様性と生産性」をテーマとした企業同士の交流をはじめ、就労体験の場作りの提案など、企業が雇用に際して必要となる配慮や手続きを相談する受け皿となるような活動を目指していると、お二人は話されていました。

利益や効率を最優先に考えれば、配慮やサポートが必要な方々に対する細やかな対応は難しくなり、当事者の働きづらさにもつながるでしょう。しかし、お二人は「そのような方々も働きやすい職場は、誰もが働きやすい職場であり、生産性の向上にもつながる。経営者はそのような会社を目指す必要がある」と話されていました。

地域に根付いた中小企業だからこそ可能な細やかな配慮や柔軟性を活かし、誰もが支え合いながら仕事に従事し、幸せを感じることを

のできる企業を目指す。さらには、そのような企業が地域を増えることで、「誰もが生きることの幸せを感じる社会」を目指す同友会の取組は、社会問題である孤独・孤立の解消にもつながる、重要なものであると考えます。

そこで、次に「経済と福祉の融合」の実践事例である株式会社ライブスポーツの取組を紹介します。



▲ひきこもりの社会復帰支援について学ぶ研修会

## 他業種連携により地域のニーズに応える！

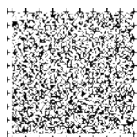
### 株式会社ライブスポーツの取組

#### 子供たちの居場所を作る

株式会社ライブスポーツ（以下、「ライブスポーツ」という。）では、スイミングクラブやフィットネス経営などの事業を行っています。その拠点の1つ、ライブスポーツ錦ヶ丘にお邪魔しました。中へ入ると、子供たちの楽しそうな声が響き、運動教室が行われる傍ら、宿題に取り組む子供たちが見えます。経営するスイミングクラブの中で学童保育が行われているのです。ライブスポーツの取組は、核家族化や共働き世帯の増加等を背景に、子育て中の保護者の声をきっかけに生まれました。「子供たちを預けるところがない」「留守番をさせるのは不安」「子供たちの居場所がほしい」などの声に対して佐藤社長は、社員の方々の検討の場を設け、スイミングクラブの建物



これまでに経験のない取組であり、大変なご苦労があったようです。スイミングクラブの送迎バスを利用した児童の送迎や、フルタイムで働く保護者の方々に配慮した20時までのお預かり



など、地域のニーズに対応した事業展開と、運動に特化した学童保育への関心は高く、地域の子育て中のご家族からは、大変喜ばれているとのことでした。また、佐藤社長は、スイミングクラブ館内での水泳だけでなく、体操や学童保育、送迎対応を行うなど、多様化する子供たちの習い事ニーズに対するワンストップ支援を目指しているとのことでした。



**障害のあるなしに関わらず  
水泳に触れる機会を**

さらに佐藤社長は、特別支援学校等に通う障害児の保護者の声から「障害児を受け入れるスイミン

グクラブが少ないこと」や「障害児には水が好きな子供たちが多いこと」を知ります。そこで、福祉事業や運動スクールを手掛ける一般社団法人MOTTO（以下、「MOTTO」という。）と連携し、スイミングスクールが実施されない空き時間を利用し、障害児を対象としたスイミング「らいぶMOTTOクラブ」を始めました。実施にあたっては、障害に関する知識がある専門の職員が見守る体制となっています。

MOTTO代表理事の齋藤氏は、佐藤社長の取組方針に共感し、共に事業を展開しているとのこと。ライブスポーツ錦ヶ丘の中には、MOTTOが実施する児童発達支援・放課後等デイサービス事業所も入っており、スイミングスクールや学童保育の子供たちは、日常的に障害児との接点があります。幼少期から当たり前のように障害児者が同じ空間にいることも、心のバリアフリー化を促進し、差別や偏見のない多様性を認め合う心の醸成に寄与するものと考えます。



**地域共生社会の実現に向けて**

佐藤社長が、地域の声に耳を傾け、地域にある課題を認識し、他業種と共に課題解決につながる手立てを模索・実践したその取組は、まさしく地域共生社会の実現につながるものです。

地域共生社会の実現のためには、多様な団体が地域に目を向け、できる範囲で支え合いの活動に取り組むことが重要となります。地域にある企業は、そのために大切な存在です。今後も、企業等による支え合い活動、地域貢献活動の取組を紹介していきます。



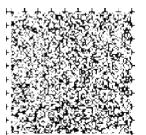
宮城県中小企業家同友会  
(電話) 022-355-2771

株式会社ライブスポーツ  
ライブスポーツ錦ヶ丘  
(電話) 022-748-4020

一般社団法人MOTTO  
代表理事 齋藤氏  
(介護福祉士)

株式会社ライブスポーツ  
社長 佐藤氏

らいぶ児童クラブ  
管理者 関氏  
(放課後児童指導員)





# 第70回宮城県社会福祉大会を開催しました！

令和6年11月12日（火）に仙台サンプラザホールで、「第70回宮城県社会福祉大会」を開催しました。  
 (主催：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、社会福祉法人宮城県共同募金会、宮城県民生委員児童委員協議会、社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会、一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会、宮城県里親会なごみの会、宮城県精神障がい者家族連合会、共催：宮城県)



大会には、県内各地から、福祉施設の職員や民生委員・児童委員などの福祉関係者約450人が参加されました。

第一部の式典では、多年にわたり県内の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰しています。



第二部の記念講演では、落語家の六華亭遊花氏に、「なまって 笑って コミュニケーション」という演題で、ご講演いただきました。

東北訛りの方言で楽しく話され、会場は笑いに包まれました。

## 受賞者一覧

### ■ 宮城県知事表彰

褒状	社会福祉事業篤志奉仕者	36名
	民生委員児童委員	(20名)
	共同募金奉仕者	(12名)
	ボランティア等社会福祉奉仕者	(4名)
	社会福祉事業従事者	41名
	民間社会福祉団体関係者	1名
	民間社会福祉団体	7団体

### ■ 宮城県社会福祉協議会会長表彰

表彰状	民生委員児童委員功労者	38名
	社会福祉協議会役職員功労者	136名
	社会福祉施設職員功労者	125名
	民間社会福祉団体等役職員功労者	14名
	ボランティア功労者	17名
	ボランティア功労団体	4団体
	優良企業功労者	4団体
	特別表彰	6団体
感謝状	個人	1名

### ■ 宮城県共同募金会会長表彰

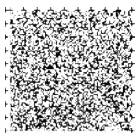
表彰状	募金活動奉仕功労者	358名
	優良地区及び団体等	6団体
感謝状	篤志寄付者	2名
	篤志寄付団体	1団体
	募金活動奉仕功労者	252名

### ■ 宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰

表彰状	永年勤続民生委員・児童委員	24名
感謝状	民生委員・児童委員活動支援者	13名

### ■ 宮城県里親会なごみの会会長表彰

表彰状	優良里親	3組
-----	------	----



# ハート & ワークス



▲キラキラデーの様子

## 地域の子育てを支える 「長町自由の星保育園」の取組

た取組は、開園時から25年間にわたり続いているそうです。

### 地域の親子が集う 「キラキラデー」の魅力

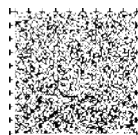
キラキラデーは、地域の親子に遊びを楽しめる場を提供することを目的として、月に2〜3回開催しています。5歳児までを対象にしております。季節の行事や誕生会などの園の行事に親子で参加できます。イベントと併せて保育士や栄養士、看護師による育児に関する講座を開催することもあるとのこと。参加した保護者からは「保育士の目もあり、安心して子供を遊ばせることができる」「他の家庭での話を聞くことができてよかった」などの声をいただいているそうです。

キラキラデーは、園の行事などへの参加を通して、園児や他の親子と交流する機会を提供すること

仙台市宮地下鉄長町駅から徒歩5分の位置にある「長町自由の星保育園」は、地域の子育て世帯を対象として、園庭の開放や子育て相談のほか、「キラキラデー」や、「Kids Cafe 空飛ぶ鯨堂」など、様々な子育て支援の取組を行っています。平間副園長によると、現在、再開発が進行中の長町は、全国各地からの転入者が多く、慣れない環境での子育てに孤独を感じ、不安や悩みを抱えてしまう方が多くいらつしやるとのこと。核家族化や少子化の進行を踏まえ、このような地域の方々の子育てを支援したいという思いから始まった



▲平間副園長





で、子供たちの社会性や協調性を育むことができる取組となっております。また、保護者の育児に対する理解を深め、日常の子育てに役立つ知識や技術など、学びの機会を提供する重要な取組にもなっているとされます。

## 安心して過ごせる 「Kids Cafe」 空飛ぶ鯨堂

空飛ぶ鯨堂は、園の入り口横に設置された鯨の看板が目印のキッズカフェです。カフェは園内に位置し、飲食スペースに加えて、キッズスペースも完備されています。子育て中の方々は、外食時に子供が急にぐずったり泣き出したりすることを心配されることもあるかと思いますが、周囲の目を気にすることなく、安心してご利用いただけます。また、園に在籍する保育士や栄養士、看護師に育児に関する悩みを相談することもできます。栄養士が考案した季節ごとの魅力的なメニューがあり、低額で



▲「空飛ぶ鯨堂」の外観

ゆったりと楽しむことができます。利用した方からは「良い気分転換になった」「同年代の子供を持つ親と悩みを共有できた」などの声が寄せられているとのこと。

利用者同士でコミュニティが形成されることでリピーターが増え、その口コミによってさらに多くの方にご利用いただいているようです。保護者が安心して利用できる環境を提供することが、育児のストレス軽減とコミュニティの形成において重要であると感じました。



▲カフェスペース



▲メニューの一例

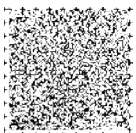
### 終わりに

「子育てに悩んだ時は一人で抱え込まないでほしい。子育ては大変

だが、楽しいということも共有したい」と話す平間副園長の言葉には、地域で子育てをしている方の力になりたいという強い思いが込められていました。

園が提供する子育て支援の取組は、地域の子育て世帯にとって、とても心強い取組になっていると思われます。また、保護者同士が共通の悩みや喜びを分かち合い、支え合う場として、この取組が大いに地域に貢献していることがうかがえました。地域に根差した子育て支援をしている「長町自由の星保育園」の取組に、今後も注目していきたいと思えます。

※キラキラデーの日程や活動内容に関しては、「長町自由の星保育園」のホームページや「キラキラだよ!」というお便りで情報を発信しています。



# ちいきをつなぐ

ポッチ

## 地域盛り上げポイント『Pocci!』

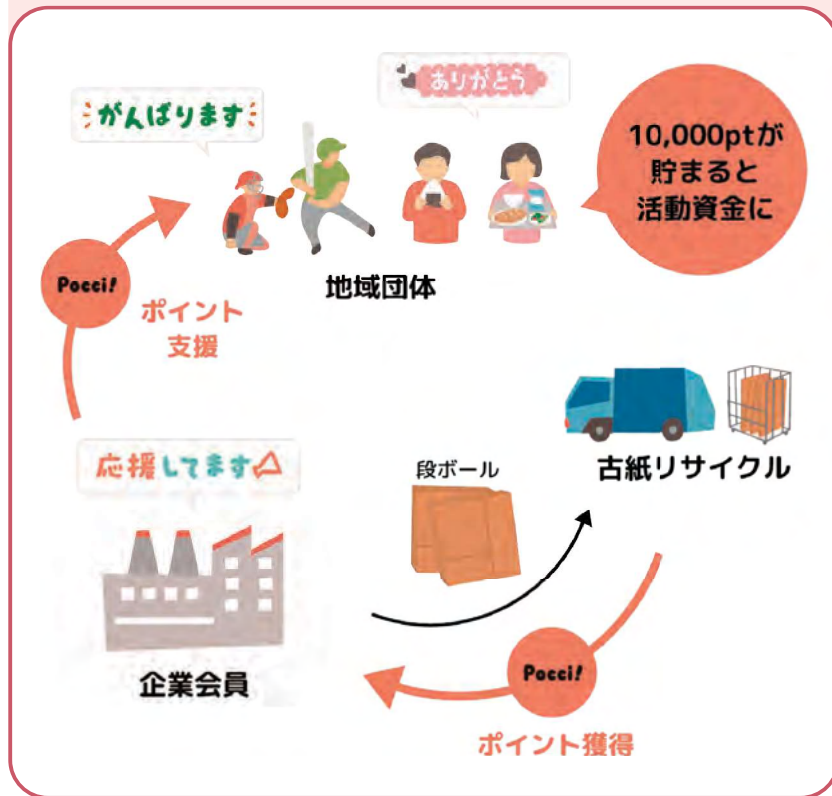
～古紙リサイクルから生まれる地域団体の応援プラットフォーム～

仙台市に本社を置くSKグループ\*は、古紙回収と廃棄物処理を主な事業として取り組んでいます。「地域社会の課題解決を共創するグループ」となれるよう、志を同じくする方々（仲間）と共に、お互いの強みを生かした新しい価値創造を通じて、エコシステムの形成を進めています。

今回は、地域の子供たちのために活動している団体（以下「地域団体」という。）を企業が応援するSKグループの取組「地域盛り上げポイントPocci!（ポッチ）」（以下「Pocci!」という。）に

ついて、株式会社SKトレーディング Pocci! 事務局長の石川伸幸氏と本田みのり氏にお話を伺いました。

※株式会社サイコー、株式会社SKトレーディング、株式会社ステップスナイン、株式会社SKホールディングス



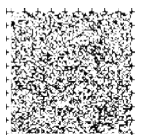
▲Pocci!の仕組み

### 『Pocci!』の仕組み

『Pocci!』は、「地域団体に対する活動資金の支援」「地域団体のPR」の2つのサポートをしています。

「地域団体に対する活動資金の支援」では、地域の企業が排出する古紙をリサイクルすることで発生する売却益の一部がポイントに変わります。

す。企業はそのポイントを貯め、応援したいと思う団体に対して送ることができる（段ボール1kgで1ポイント）。地域団体は、『Pocci!』に登録することで、企業から送られたポイントを換金して金銭的応援を受けることができ、活動に必要な備品の購入や、遠征費、施設利用費に充てることができます。



「地域団体のPR」では、事務局で発信している各種SNSやメディアを通じて、地域団体活動のPRや団員・参加者募集等の広報活動への協力を積極的に行っています。「活動をPRしたいけど自分たちでやるのは難しい」「参加者を募集しても人が集まらない」といった、団体の抱える課題に寄り添っています。

他にも、地域団体の活動を取材し、活動内容をホームページに掲載しています。取材や記事の作成、団体を紹介する動画の作成は大学生インターンが企画して取り組んでおり、地域団体や企業の方から好評を得ています。ぜひ皆さんにも読んでほしいです。



## 『Pocci!』を開始した経緯

SKグループでは、企業としての事業活動と社会貢献活動を通じて、地域の人々の暮らしをより豊かにするエコシステムを作りたいという思いから、地域課題の解決にグループとして取り組んでいます。その中で、子供たちが夢を描く環境や、生き生きと活動できる場所を作りたい、守ってきたいと考え、古紙リサイクルを通じた取組としました。『Pocci!』は、**わずかな価値を集めて**



▲Pocci!事務局

地域の子どもたちを応援する〚をコンセプトに、2022年11月から利府町で開始しました。2024年からは、県内全域に事業を広げており、この取組に賛同し登録いただいている企業は現在49社、地域団体は118団体となっています。

### 団体や企業の声・担当者としての思い

本田さんは、『Pocci!』への想いを次のように語ります。「地域団体からは、『活動資金を頂き充実した活動環境を整えることができた』『自分たちの活動を見て応援してくれる方がいて嬉しい』といった声をたくさんいただいています。地域団体の皆様にとっては、自分たちの活動を様々な人に見てもらおう、知ってもらおう機会にもつながっていると感じています。金銭的支援を必要としているだけではなく、地域の中でのつながりを求めている地域団体が多いことも改めて実感しています。『Pocci!』を通じて地域団体と企業がつながるきっかけの一つとなれば嬉しいです。また、企業からは『気軽に負担がない手法で、地域づく

りにつながっている』『地域の子供たちの応援ができて嬉しい』といった声が寄せられています。地域の子供たちのために、応援してくれる企業を今後も増やしていきたいから、これからもPocci!事務局としてサポートをしていきます」。



▲地域団体に参加している子供たち

### 今後の展開

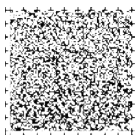
『Pocci!』を通じて、応援する大人（企業）にとっても、支援を受ける子供や指導者（地域団体）にとっても、双方が幸せになれる、

地域での経験の場を作っていきたいと考えています。私たちは地域の方と連携しながら、一緒に子供たちの居場所を作り、見守っていきたいです」と、本田さんは今後の意気込みを語ってくれました。

この取組は、普段の生活の中で気軽に地域貢献に参加することができ、事務局のサポートを活用し、互いに見える化されていることで、継続していく事業であると感じました。今後、さらに県内全域に取組が広がり、より良い地域づくりにつながることを期待しています。



▲QRコード



## 事業所インタビュー

### 社会福祉法人仙台キリスト教育児院 地域小規模児童養護施設かりんの家

今回は、地域小規模児童養護施設かりんの家を訪問し、児童養護施設の仕事の魅力について、入職6年目となる、保育士の三浦美咲さんにお話を伺いました。

#### Q. かりんの家は、どのような施設ですか？

グループホームの一つとして、より家庭に近い環境の一軒家に、小学生から高校生までの4人の子供たちが職員と共に生活しています。

#### Q. かりんの家では、どのような仕事をしていますか？

勤務体系は、「朝」と「夕方から夜」の断続的な勤務を基本としていて、“おはようとおやすみが同じ顔”になるようにしています。料理や洗濯等のほか、一緒にご飯を食べて、子供の宿題を見たり、遊んだりしています。休みの日は、子供の部活の送迎や試合応援にも出かけますし、一緒に買い物にも行きます。家庭と同じです。

かりんの家では、食卓を大事にしています。子供の顔を思い浮かべながら、献立を考え、買い物をし、楽しく食卓を囲んでいます。

#### Q. この仕事にやりがいを感じることは？

子供が怪我をしてしょんぼりと帰宅した時に、「〇〇さんいる？」と自分の名前を呼んでくれた瞬間、「ああ、この子の心のなかに私が存在している」と感じました。また、テストで1点でも上がったとか、昨日よりも漢字がきれいに書けたなど、小さな変化に喜びがあり、やりがいとなっています。

#### Q. 仕事とプライベートの切り分けは難しくありませんか？

趣味はベガルタ仙台の試合を観戦することです。プライベートが充実しているからこそ切り分けができ、仕事も頑張れます。先輩職員には結婚・出産をし、ライフステージに応じた勤務形態で働き続けている方もいて、心強く、憧れの存在です。

#### Q. どのような職員でありたいですか？

困った時に、ふと顔を思い浮かべてもらえるような大人でありたいです。「当たり前を保障してあげたい」と日々思っています。私は、これまで親が自分へ当たり前にしてくれたことを、この仕事に就いて改めて感謝しています。今度は自分が目の前の子供たちにしてあげたいです。

# ガッツジョブ FUKUSHI

このコーナーでは福祉に関する仕事や団体などについて紹介します！



▲笑顔が明るい三浦美咲さん



▲子供の話しながら洗濯物たため

#### 児童養護施設とは

社会には様々な理由により、保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもたちがいます。子どもたちが、自分の存在を肯定的に捉え、「生まれてきてよかった」と感じられるようになるためには、安心して自分を委ねられる大人の存在が必要です。心のこもった食事が用意され皆で食卓を囲むこと、部屋がいつも大切に手入れされていること、言葉や振る舞いがさり気なく配慮されていること等が大切です。

参考 全国児童養護施設協議会「もっと、もっと知ってほしい児童養護施設」



X (旧Twitter)  
フォローしてね♪  
@miyagijinjaic

FUKUSHI-JOB SEARCH  
**福祉のお仕事**



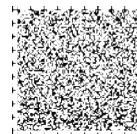
<https://www.fukushi-work.jp/>

#### お問い合わせ

宮城県福祉人材センター

(TEL: 022-262-9777)

(貸付専用TEL: 022-399-8844)





# 第36回全国健康福祉祭 とっとり大会 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」大会レポート



▲マスコットキャラクター  
あおやかみじろう

## ●シニア世代の

### 健康と福祉の祭典

「咲かせよう砂丘に長寿と笑みの花」をテーマに、スポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典「第36回全国健康福祉祭とっとり大会」（愛称…ねんりんピックはばたけ鳥取2024）が、令和6年10月19日から22日までの4日間にわたり、鳥取県19市町村を舞台に開催されました。

全国から1万人近い選手が集まり、延べ約40万人が参加しました。宮城県からは、17種目に18チーム、総勢117名の選手が参加しました。

## ●宮城県チームの活躍

宮城県チームの活躍の一部

をご紹介します。

マラソンでは、女子・10km・70歳未満の部で大久保好美さんが優勝しました。水泳では、男子・50m背泳ぎ・75〜79歳の部で佐藤美さんが優勝したほか、女子・50mバタフライ・80〜84歳の部で三國光子さんが2位、女子・25mバタフライ・75〜79歳の部で穴戸礼子さんが2位となりました。三國さんと穴戸さんは他の種目でも3位を獲得し、複数の種目で活躍しています。



▲マラソン

その他の個人競技、団体競技でも上位入賞しています。全国の強豪を相手にいきいきとしたプレーを見せ、参加者との交流を楽しんでいました。

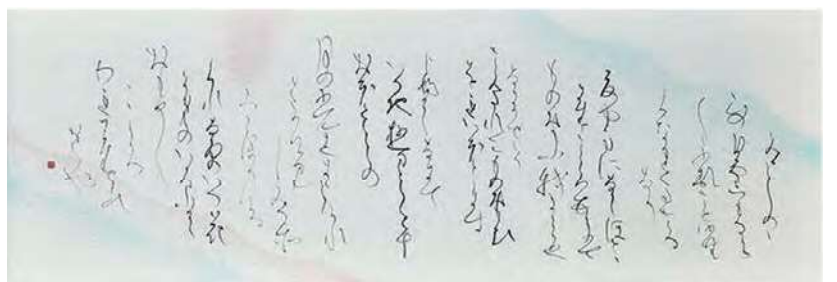


▲水泳



▲竹本恵子さんの作品

なお、境港市民交流センターで開かれた美術展（洋画・日本画の部）では、洋画部門で竹本恵子さんが最高齢賞を受賞し、倉吉博物館で開かれた美術展（書・工芸・写真の部）では、書部門で堀内桃水さんが一般財団法人長寿社会開発センター理事長賞を受賞しました。

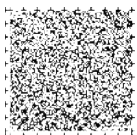


▲堀内桃水さんの作品

来年で37回目を迎えるねんりんピックは、岐阜県を舞台に開催されます。岐阜大会でも、宮城県選手の素敵な笑顔にお会いできることを楽しみにしています！



▲マスコットキャラクター  
ミナモ





### 宮城県社会福祉協議会 賛助会員募集!

宮城県社会福祉協議会は「誰もが身近な地域で安心していきいきと暮らせる地域づくり」に取り組み、豊かな福祉社会の実現を目指しています。地域の多様な組織・団体と力を合わせて、幅広い活動に取り組んでいます。

企業の皆様、各種団体の皆様、住民の皆様にも、福祉のまちづくりと、宮城県にお住いの方々が抱える困りごとの解決に向けて、お力添えをいただきたく、会員を募集しています。



法人会費 1口 10,000円  
個人会費 1口 5,000円

※「賛助会員」とは、本会の趣旨に賛同し、会員としてご協力くださる団体及び個人のことです

#### 会費使途

- 県内の福祉の向上のための各種研修会やセミナー、福祉関係者会議等の開催
- 市町村社会福祉協議会の活動支援
- 社会福祉事業経営支援事業
- 「福祉みやぎ」の発行 他

#### 会員特典

- 福祉みやぎ(本会広報誌)を毎月送付します。
- 本会で実施する研修の受講料の割引があります。
- 広報誌や、ホームページバナー等への広告掲載料の割引があります。
- 本会発行の刊行物紙面上での広報が可能です。

宮城県社協のホームページはこちら  
<https://www.miyagi-sfk.net>



お問い合わせ・申し込み先 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 総務部経営戦略課 TEL 022-779-6963



### 宮城県内の福祉施設・介護事業者向けの総合補償制度

## 宮城県地域福祉総合補償制度をご利用ください

#### ポイント1

社会福祉協議会の会員である社会福祉施設、介護サービス事業者が加入できます。

#### ポイント2

地元宮城県で加入手続き・事故対応・その他アフターフォローを行いますので安心です。

#### ポイント3

団体制度のため、有利な団体割引が適用されています。(一部適用外)

#### お問合せ

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会  
三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社オンワードマネジメント

TEL022-779-7440  
TEL022-221-3171  
TEL022-762-9915

※この制度の各補償は宮城県社会福祉協議会が保険会社と締結した保険約款により行います。



オンワードマネジメントのサイトにリンクします。

この印刷物は、植物性油インキを使用し、環境にやさしい水なし印刷方式を採用しています。



「福祉みやぎ」は宮城県社協のホームページでもご覧になれます。また、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなどをお寄せください。表紙の作品も募集しています。

